

2025年4月1日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

4
2025
April
No.303

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 内田 賢一 ○編集 | 武田 正一

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

5,709名

[2025.3.3現在]

Contents

P1▶巻頭言 P3▶災害対策部報告 P4▶ライフサポート部報告 P6▶新人教育部報告
P8▶広報部取材報告 P10▶臨床教育部報告 P12▶研修会・講習会
P14▶会長行動 P15▶information P16▶編集後記/原稿送付先

巻頭言

副会長・地域支援局長 露木 昭彰

新年度を迎えて～組織とその役割～



新年度を迎えるにあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

春は新たなスタートの季節です。理学療法士としてキャリアを始める方、職場を変え新たな挑戦をする方、管理職となり組織運営に関与する方、それぞれが目標を定め、歩みを進めていることでしょう。その際、「なぜ自分がこの役割を担うのか」「なぜ今取り組むのか」と自問し、組織の一員としての役割や責任を整理することが重要です。

私は、神奈川県理学療法士会（以下、県士会）の副会長であり、理学療法士としての経験を重ねながら会社経営にも携わっています。本稿では、それぞれの立場から「組織とその役割」について考えてみたいと思います。

理学療法士個人の役割

理学療法士は、対象者のQOL向上に貢献する専門職です。「理学療法士及び作業療法士法」第1条にも、その業務の適正運用が明記されています。知識と技術を高め続けることが、専門職としての責務であり、生涯学習の推進は個々の役割の一つ

と言えます。

所属組織の役割

理学療法士は、病院、施設、企業、あるいは独立起業と、さまざまな環境で職務を遂行しています。どのような形態であれ、組織には目的があり、成果を生み出すことが求められます。その中で、組織の方向性を示し、適切に運営する役割を担うのがマネジャーです。しかし、近年はマネジャーの負担が大きくなり、敬遠される傾向も見られます。

県士会は、こうした課題に対応すべく、県内のマネジャーが情報交換し、理学療法部門の発展を支援する場を提供しています。理学療法士の職場環境をより良いものにすることも、県士会の役割の一つです。

神奈川県理学療法士会の役割

県士会は、県内の理学療法士を組織し、

- 理学療法の調査・研究および学術技能の研鑽
- 県民の保健・医療・福祉の向上
- 会員間の連携促進
- 行政や関連団体との対話による職域保全・拡大といった活動を展開しています。現在、会員数は5,700名を超え、多くの事業を実施しています。一方で、県士会の活動範囲は県内に限られるため、中央省庁との折衝は困難です。

巻頭言

日本理学療法士協会との連携

県士会は、日本理学療法士協会と連携し、職能向上を目指しています。しかし、近年、入会者の減少と退会者の増加が懸念されています。物価上昇に伴う賃金の伸び悩みや、診療・介護報酬制度の影響で、将来への不安から離職を選ぶ理学療法士も増えています。

この状況を打破すべく、協会は職域拡大や賃金改善に向けた活動を進めています。理学療法士の社会的地位向上には、組織の力が不可欠です。

田中まさし氏の支援

この課題に対し、日本理学療法士協会の組織代表である田中まさし氏が、理学療法士の賃金向上や職域拡大を目指し、政界で活動を展開しています。2025年7月に参議院議員としての任期が満了となりますが、次期選挙への立候補が決定しており、引き続き理学療法士のための政策推進を進める意向です。

すでに皆様のお手元には『田中まさし後援会入会申込書』が届いているかと思います。入会金は無

料であり、理学療法士の職能向上のために重要な一歩となります。賃金改善や職域の保全・拡大を実現するため、皆様のご支援をお願いいたします。

新年度も、理学療法の発展に向けて共に歩んでいきましょう。何卒よろしくお願い申し上げます。



Gift

オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)

日本ウール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

SP-I 湘南義肢研究所

整形靴から義足、車いすまで



神奈川県で半世紀
これからも気分の上がる装具をお届けします！

最新情報はFacebookで

横須賀市小川町27 TEL 046-822-6722 <https://www.sp-i.net>



災害対策に関するトピックスと理学療法士の役割

令和6年能登半島地震を契機に、災害対策の枠組みが大きく変わりつつあります。在宅避難を選択する高齢者や障がい児・者の実態把握や支援開始に時間を要したことが課題となりました。2024年12月には、避難所生活環境の改善に向けた取り組みが自治体向けに発信され※、2025年度には、災害対策基本法の改正をはじめ、福祉的支援の拡大、防災庁の設置に向けた新たな施策の展開が予定されています。これらの変化の中で、理学療法士はどのように関与し、どのような役割を果たしていくべきかが問われています。

・災害リハビリテーションの制度的強化と理学療法士の参画

被災後の避難所生活では、深部静脈血栓症および生活不活発発病のリスクが増加し、高齢者や要配慮者にとって深刻な健康問題となります。理学療法士は、避難所等、応急仮設住宅での身体機能維持のための生活環境支援を通して、生活機能の維持・向上に貢献できる立場にあります。

・福祉的支援の拡大と避難所環境の改善

避難所や在宅避難者に対する福祉的支援の拡大により災害関連死防止に向けた取り組みが求められています。乳幼児や妊産婦を対象とした福祉避難所の設置・運営に関するガイドラインの整備も進んでおり、保健・医療・福祉の専門職が連携して支援にあたる体制づくりが急務となっています。特に、生活環境の改善に向けたアセスメントを行い、身体機能の低下を防ぐための支援を実施することが期待されています。

・平時の防災・減災活動の重要性

災害時に円滑な支援を行うためには、平時の防災・減災活動が不可欠です。神奈川県では、か

なわ災害福祉広域支援ネットワークや神奈川県DWAT（災害派遣福祉チーム）を中心に、行政と関係機関と連携した要支援者リストの作成や個別避難計画の策定が進められています。理学療法士として、自治体や地域包括支援センターと協力し、在宅医療的ケア児・者や要介護者が適切な避難先を確保できるよう、事前の支援体制を構築することが求められます。

厚生労働省防災基本計画では、被災地域外からの災害派遣組織として、日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）が明記されました。災害対策基本法の改正や在宅避難者への福祉的支援の拡大を受けて、理学療法士が災害リハビリテーションの現場で果たすべき役割はますます重要になっています。

先日、2月24日に実施された第60回理学療法士国家試験では、初めて「災害とリハビリテーション」に関する問題が出題されました。これは、本領域の重要性が制度的にも認識されつつあることを示しており、今後の基盤整備のさらなる推進が求められます。

今後も本会事務局災害対策部では、平時の防災・減災活動への参画を積極的に推進し、災害時に迅速かつ効果的な支援が提供できる体制の整備に尽力していきたいと考えております。

※自治体向けの避難所に関する取り組み指針・ガイドラインの改定について(令和6年12月13日)
内閣府防災担当 https://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/hinanjo_guideline_kaitei241213.pdf

神奈川県理学療法士会 事務局
災害対策部ホームページ
<http://pt-kanagawa-saigai.com/>

研修会報告

“共育て時代”へ向けて “産後パパ育休”を考えよう！

ライフサポート部
活動報告 第86報
職場環境を考える

“産後パパ育休”についてどんなイメージがありますか？「赤ちゃんのお世話が出来るように」「産後ママが休めるように」「パパとしての自覚をもってもらうため」さまざまあると思います。ここで挙げた一例は、ごく短い期間に限られたことではないでしょうか。

2025年に改正される育児・介護休業法では、育休期間中だけではなく、ママ・パパ共に育休明け後の「子育てと仕事の両立支援」まで、一歩踏み込んだ内容が盛り込まれることになりました。

ライフサポート部は女性PTが出産を機に離職し戻ってこない状況への危機感から始まった活動です。発足から20年の時を経て、男性のライフワークバランス、延いては、みんなで子育て、仕事、生活を考える“共育て時代”へと変化してきています。そこで、男性の育休取得や職場環境整備に焦点を当て、理解を深めることを目的に、初めて“産後パパ育休”をテーマに今年度最後の研修会を開催しましたので、その様子を報告させていただきます。



本研修会は以下の3部構成で行いました。

第1部

子育てを行う男性に特化した支援活動を行う Daddy Support 協会 代表理事 平野翔大先生を講師にお招きし、男性育休や男性育児の現状について産業医・産婦人科医の立場から、具体的な法改正内容やデータの提示、今後の課題を解決策などを交えての講義

第2部

実際に「産後パパ育休」を活用したパパPT・ママPTや、管理者の立場からの体験談をシンポジウム形式で学習

第3部

参加者が自身の体験や疑問に思ったことなど、グループディスカッション形式で、自由に発言・意見交換

活動報告Ⅱ ライフサポート部

本研修会参加者の6割が男性であり、30代～40代の参加が多く、育休取得がより現実的な世代がテーマへの関心を持って集まって下さいました。研修会後のアンケートでは、内容について「育休について具体的な参考になった」「男性育休の現状や方向性が理解できた」「データ提示があり、納得感があった」「時代に合ったテーマで非常に有意義」とすべての参加者から満足の声が聴かれました。また、「今後は子育て世代のスタッフに事前配慮できそう」「男性育休の普及に取り組みたい」「新人教育に組み込みたい」「育休取得の計画を職場や家族と共有したい」など、参加者の意識が高まり、「産後パパ育休」制度の普及や職場環境の改善に前向きな意見が多く聞かれました。

私自身もこの研修会を通して、あの時の私がこの話を聞いていたら、旦那さんともっと話し合っって子育てを考え、お互いに子供の可愛さと仕事へのやりがいを上手く感じられていただろうと思いました。そして、あの時の上司がこの話を聞いていたら、お互いに気持ちよく、育休に入る後輩たちを子育ての先輩として送り出してあげられていたのではないかと思います。

今回初の試みとして掲げたテーマであり、研修会は盛りだくさんの内容となりましたが、参加者皆様から好評の声を頂けたことを、ライフサポート部一同大変嬉しく思います。一方で、医療業界ではまだまだ取得率や取得期間が伸び悩んでおり、今後は男性の育休取得を多角的に捉え、深く議論を進めていくことが職場環境整備に必要であると感じられました。次年度以降、管理者向けの支援策や若手スタッフ向けの研修、“産後パパ育休”の普及啓発研修など、よりブラッシュアップさせた内容で実施していきたいと思っております。ぜひ多くの方に聞いていただきたい内容ですので、皆様のご参加お待ちしております。



新入会者の皆さんへお知らせ

2025年度に入会された会員の皆さん、新社会人としてのスタートを心からお祝い申し上げます。そして、本会に入会いただき、ありがとうございます。理学療法士として、一緒に研鑽を積んでいきましょう。

入会と同時に生涯学習制度がスタートしました。前期研修は、最短で2年間となっています。eラーニングを中心とした履修とOJT（On the Job Training）になります。今年度入会者のeラーニングは、9月以降に履修が可能になります。少々

お待ちください。実地研修は、マイページからの受講申請が必要です。自施設での実地研修受講であっても、申請をしてください（基本的には受講申請後に実地研修を開始してください。ただし、受講申請前に実地研修を開始した場合も、受講途中または終了後に申請されても、受講は有効です）。また、実地研修の開始時期や担当の実地指導者等については、自施設の施設会員代表者または、登録理学療法士の方に確認して進めてください。

後期研修中の皆さんへお知らせ

1. 士会主催症例検討会

■ 開催日程のお知らせ

この症例検討会は、生涯学習制度の前期研修D-2、後期研修E（事例）に該当するものです。2025年度は全5回の士会主催症例検討会を開催します（2024年より2回増えました）。下記のスケジュールにて開催を予定しています。昨年は、締め切りより前に申し込みが締め切られています。事前にご確認のうえ、早めに申し込みをして

ください（申し込み開始は、開催日の2か月前となります）。

開催時間は、10時～11時50分になります。1症例30分間を3症例行います。30分間の時間構成は、症例発表10分、ブレイクアウトルームを用いた聴講者によるディスカッション10分、全体の質疑応答10分となっています。

開催形態は、全てzoomを用いたオンラインにて行います。

開催予定日

- 第1回症例検討会
（神経系 E-1）：4月20日（日）
- 第2回症例検討会
（内部障害系 E-3）：6月15日（日）
- 第3回症例検討会
（運動器障害系 E-2）：9月28日（日）

- 第4回症例報告会
（内部障害系 E-3）：11月30日（日）
- 第5回症例検討会
（未定）：第42回神奈川県理学療法士学会内で開催

■ 演題募集について

演題募集は、随時受け付けています。皆さんの応募をお待ちしています（神奈川県理学療法士会会員の方のみ）。各症例検討の演題募集の締め切りは、下記の通りとなっています。日程をご確認いただいたうえ、申し込みください。

演題申し込み方法は、メールにて受付をしています（申し込み先：syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp）。次頁締め切り日までに申し込みをしてください。

締め切り前でも3名の発表者が決定しましたら、受付を終了させていただきます。過去に学会等で発表した内容でも構いませんが、過去にE-1～3のコ

活動報告Ⅲ 新人教育部

マを付与された演題は、発表ができません。
抄録の作成は不要ですので、お気軽に応募してく

ださい。詳細は、県士会 HP の生涯学習制度のページをご覧ください。

演題募集締め切り日（開催 2 か月前）

- | | |
|--|---|
| ■ 第 1 回目症例検討会
（神経系 E-1）：締め切り済み | ■ 第 3 回目症例検討会
（運動器障害系 E-2）：7 月 28 日（月） |
| ■ 第 2 回目症例検討会
（内部障害系 E-3）：4 月 15 日（火） | ■ 第 4 回目症例検討会
（内部障害系 E-3）：9 月 30 日（火） |

2. 日本理学療法士協会主催の症例検討会について

2025 年度よりの PT 協会が主催する症例検討が開催されるようです。今後具体的な情報が掲載されるとお思いますので、そちらもご確認ください。



日本理学療法士会
生涯学習制度のページ



神奈川県士会
生涯学習制度のページ

新人教育部員のつぶやき…

理学療法士として臨床現場で働くようになり、10 年以上が経ちました。この間、理学療法を取り巻く環境は日々変化し続けています。そして、これから先もその変化が止まることはないでしょう。むしろ、今後はさらに変化のスピードが加速し、ときには対応に苦慮するような壁が目の前に立ちだかることもあるかもしれません。

しかし、この仕事で得られる喜びは確かにあります。心身に障害を負った患者さんとともにリハビリテーションに取り組み、一歩ずつ前進しながら、家族や仲間の待つ社会へ復帰を果たしたときの達成感は、何ものにも代えがたいものです。

壁にぶつかったときは、一人で抱え込まず、仲間や先輩とともに解決を目指しましょう。新人教育部も、皆さんの学びを全力でサポートします。研修や症例検討会を通じて知識を深め、実践に活かせる機会を提供していきますので、ぜひ積極的に活用してください。

理学療法士としての道のりは決して楽ではありませんが、その分だけ、患者さんの人生に関われるやりがいがあります。私たちも、皆さんとともに学び、成長できることを楽しみにしています。

新人教育部 篠田 洋平
(東神奈川リハビリテーション病院)

活動報告Ⅳ 生涯学習部

2025年度（公社）神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催講習会のお知らせ

ZOOM を用いたインターネットによる生配信、録画配信での講習会を複数回、予定しております。

詳細は調整中ですが、決定次第、日本理学療法士協会マイページ等に掲載いたします。

御確認の上、ふるって御参加くださいますよう

お願いいたします。

お問い合わせ先

（公社）神奈川県理学療法士会 生涯学習部
E-mail : shogaigakushu@pt-kanagawa.or.jp
お問い合わせはメールでお願いします。

「第41回神奈川県理学療法士学会」を取材して来ました！

2025年2月9日にパシフィコ横浜にて第41回神奈川県理学療法士学会を取材してきました。今学会は5年ぶりの対面形式が開催され、611名の方が参加されました。今回は佐藤隆一学会長と小澤哲也準備委員長にインタビューしてまいりました。

■ 佐藤学会長（小田原市立病院）



学会の未来を築く挑戦と工夫 - 学会運営の舞台裏と今後の展望 -

理学療法学会の新たなスタイルを築き上げた佐藤隆一学会長。彼が進めてきた学会運営のプロセスには、多くの試行錯誤と工夫がありました。今回のインタビューでは、テーマ決定の背景や、コロナ禍を経て変化した運営方法、そして今後の学会の方向性についてお話を伺いました。

学会テーマ決定の新しいスタイル

学会のテーマは通常、学会長が主導して決定することが多いですが、今回は違った方法が取られました。「学会長・副学会長・準備委員長が決まった段階で、まずテーマを挙げてもらい、それを準備委員の皆さんと共有し、投票で決定しました。」と佐藤学会長。これは、より多くの意見を反映し、

学会に関わる全員が主体的に参加できる形を目指したものです。

また、コロナ禍の影響で対面での打ち合わせが難しい中、オンラインツールを活用することでスムーズなコミュニケーションを実現しました。従来のメーリングリストから Slack へ移行し、リアルタイムでのやり取りを可能にしたことも、大きな変革の一つでした。

広報の課題と新たな挑戦

「今回、最も苦労したのは広報活動でした。」と佐藤学会長は振り返ります。これまでの県学会では理学療法士（PT）のみが対象でしたが、今回は対面開催の強みを生かし、作業療法士（OT）や言語聴覚士（ST）、さらには他職種の専門家にも門戸を開きました。その結果、多様な視点を持つ専門家が集まり、より実りのある学会になりました。

しかし、広報の難しさは想定以上だったようです。「2019年の学会には約900人が参加しましたが、今回は1月中旬の事前登録時点で200～300人ほどで、正直悩みました。」と苦しい胸の内を明かします。それでも、より多職種が関わる総合学会へと発展させることができたのは大きな成果でした。

シンポジウムの充実と「心のバリアフリー」

今回の学会では、学会長自身の基調講演を行わず、その分シンポジウムを充実させました。「せっかくの対面開催なので、多くの方をお招きし、多角的な講演を企画しました。」

特に注目されたのが、「心のバリアフリー」に関するシンポジウムです。「理学療法士だけでなく、他の専門職との連携が重要です。職場運営やメンタルヘルスといったテーマも含め、多様な分

活動報告Ⅴ 広報部取材報告

野の専門家と意見を交わす機会を作ることが、学会の価値を高めると考えています。」

次世代へ向けたメッセージ

最後に、佐藤学会長は次世代の学会運営への思いを語りました。「学会は一人のものではなく、みんなで作り上げていくもの。今後も多くの方に参加してもらい、盛り上げてほしい。」

新たな形で進化を遂げた今回の学会。その挑戦は、今後の学会運営の指針となることでしょう。

■ 小澤哲也準備委員長（小田原市立病院）



5年ぶりの対面開催！学会準備の舞台裏

本学会の準備委員長を務めた小澤哲也先生に、学会開催に向けた準備や運営の裏側、そして対面開催の意義についてお話を伺いました。

学会準備委員長としての役割

「最初に全体像を把握し、スケジュールを管理するところから始まりました」と小澤先生。各担当者からの相談に対応しながら、進捗の遅れがないかを確認し、必要に応じて指示を出す役割を担っていたそうです。

学会の本格的な準備は1年前の学会終了後にスタートし、4月には第1回目の全体会議が開催されました。「学会長の思いを共有し、それに沿った企画を立案することから始めました」と、準備の流れを語ります。

5年ぶりの対面開催

「過去の大会運営の経験を参考にしながら進めましたが、この5年間で変化した点も多く、受付のデジタル化や物価の高騰などに対応する必要がありました」と小澤先生。特に今回は対面での交流を重視し、学会のテーマに沿った5つの企画を準備しました。

1. 多職種連携と災害時の理学療法士の役割
2. スポーツ領域とメンタルヘルスの教育講演
3. 神奈川県 PTOTST 士会合同特別企画
4. 県士会タイアップ企画
5. 対面形式の再開と多職種交流の機会

「準備委員がそれぞれ案を出し、投票で上位に選ばれたものを企画として採用しました。20案ほどの候補がありましたが、最も多くの支持を集めた5つが実現しました」と、企画決定のプロセスについて説明してくれました。

実際の運営と手応え

「各企画の担当者が中心となり、意欲的に準備を進めたことで、当日はスムーズに運営できました」と小澤先生。特にポスター発表と企画ブースが近接して配置されたことで、参加者が立ち寄りやすい動線が確保され、活発な交流が生まれたといいます。

会員の皆様へのメッセージ

「今回の学会は、5年ぶりの対面開催ということもあり、多くの先生方に参加していただきたいと願っていました。学会は、参加するだけでなく運営に関わることでさらに多くの学びがあります。ぜひ来年度の学会にも積極的に関わっていただければと思います」と、今後の学会への期待を込めました。

運営の裏側を知ることで、学会が多くの人の支えによって成り立っていることが改めて感じられました。次回の学会も、多くの参加者で盛り上がることを期待しています！



2025年度 臨床実習指導者講習会に関するお知らせ

1. 開催概要

現行の「理学療法士作業療法士養成施設指定規則」（2018年10月5日発表）では、臨床実習指導者の要件として厚生労働省指定の講習会受講が必要です。本講習会は、この厚生労働省指定の講習会に該当します。2025年度は、2024年度と同様に①県士会担当講習会と②養成校担当講習会にわけて実施いたします。

県士会担当講習会は、参加者全員を公募にて決定します。一方、養成校担当講習会については、7割程度の参加者を養成校が決定し、3割程度の参加者を県士会枠として公募致します。

なお、現時点では対面での講習会として計画しておりますが、Web講習会への変更などが生じる可能性がありますので、ご承知おきください。

2. 開催日程

<県士会担当講習会>

- ・2026年1月17日（土）～18日（日）
会 場：横浜リハビリテーション専門学校

<養成校担当講習会>

定員の一部が公募となります。

1. 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 / 湘南医療大学
：2025年7月5日（土）・6日（日）
2. 北里大学
：2025年9月6日（土）・7日（日）
3. 横浜リハビリテーション専門学校
：2025年11月29日（土）・30日（日）

*上記、県士会会員の公募枠が設定されている講習会です。

昭和大学・神奈川県立保健福祉大学の講習会は、公募枠はございません。



2025年度 神奈川県臨床実習指導者講習会 開催概要一覧

担当	日程	会場	定員	県士会枠 申し込み 開始時期	問い合わせ先 (メール送信の際には、●を@に変 えてください)
県士会	2026年 1月17日(土)～ 18日(日)	横浜リハビリテ ーション専門学校	60名	2025年 10月頃	臨床実習教育部 坂本美喜 (rinsho-jisshu ● pt-kanagawa.or.jp)
湘南医療大学/ 茅ヶ崎リハビリテ ーション専門学校	2025年 7月5日(土)～ 6日(日)	茅ヶ崎リハビリテ ーション専門学校	80名 (上記のうち、24名程度 を県士会枠で公募)	2025年 4月下旬	米本竜馬 (ryuma.yonemoto ● gmail.com)
北里大学	2025年 9月6日(土)～ 7日(日)	北里大学	60名 (上記のうち、18名程度 を県士会枠で公募)	2025年 6月上旬	小倉 彩 (kitasatopt.cp ● st.kitasato-u.ac.jp)
横浜リハビリテ ーション専門学校	2025年 11月29日(土)～ 30日(日)	横浜リハビリテ ーション専門学校	100名 (上記のうち、30名程度 を県士会枠で公募)	2025年 9月上旬	須藤ゆかり (sv-pt ● reha.iwasaki.ac.jp)

注1：講習会開催時間は、いずれの日程も1日目；9時～19時、2日目；9時～17時となります。

注2：上記一覧は、県士会会員の公募枠が設定されている講習会です。昭和大学・神奈川県立保健福祉大学の講習会は、公募枠はございません。

3. 養成校が決定する参加者について

養成校から、直接、各施設にご連絡を差し上げる予定です。

4. 対象者・参加費

1) 県士会担当および養成校担当の県士会枠

- ・対象者：(公社)神奈川県理学療法士会会員もしくは神奈川県に在住の理学療法士
- ・参加費：(公社)日本理学療法士協会会員：無料、非会員：20,000円

2) 養成校担当の講習会

- ・対象者：理学療法士
- ・参加費：無料

*いずれの講習会も**実務経験 満4年以上の方が対象**です。

*実務経験は、「実務経験申告書」での確認が必要となりますので、受講決定後に本書類を提出いただきます(以下URL参照 <https://drive.google.com/file/d/1YuhulwHqQGFNLYMk5tJ8FHSqEwSiM9pg/view?usp=sharing>)。

5. 問合せ先

臨床実習教育部長 坂本美喜(北里大学医療衛生学部)

メールアドレス：rinsho-jisshu@pt-kanagawa.or.jp

(メール送信の際には、rinsho-jisshu ● pt-kanagawa.or.jp の●を@に変えてお送りください)

【触診が苦手な方限定】
第34期

6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー BASICコース 信頼される療法士の土台を作る

テーマ：3ヶ月で触診の技術を磨き、評価・アプローチを効率的に行えるようになる。

内容：触診の技術に自信がありますか？多くの療法士が触診の苦手意識や治療効果の不明確さに悩んでいます。この根本には触診技術の不足があります。

当セミナーは、André Aubinらの「7ステップ触診法」を基に、3ヶ月間の集中プログラムを提供。少人数制で実技中心のカリキュラムにより、確実に技術を習得できます。

学べる内容：体幹・上下肢の骨・筋の触診
関節モビライゼーションと筋膜のリリース
ICFを用いた評価・治療計画
効率的な身体の使い方
報告書作成と他職種連携

コース構成：1ヶ月目体幹編
2ヶ月目上下肢編1
3ヶ月目上下肢編2

各回で触診、モビライゼーション、筋膜のリリースを学びます。

医師からも「触診の大切さを再認識した」と高評価。この機会に療法士としての土台を築き、患者様から信頼される存在になりませんか？

詳細はHPよりご確認ください>>>
<https://lts-seminar.jp>

開催日時：第34期（土日）

2025年 4月12,13日 5月10,11日
6月7,8日

9時30分～16時30分（休憩あり）

＊都合の悪い日程は振替受講が可能です。

会場：〒233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内
ウィリング横浜（京浜急行/横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車徒歩3分）

受講料：6日間お申込みで66,000円（税込）
（テキスト代含む）

講師：大塚 久 理学療法士

定員：24名限定

注意事項：HPよりお申し込みください>>>
<https://lts-seminar.jp>

お問い合わせ：療法士活性化委員会事務局：
ryohoshikasseika@gmail.com

株式会社エヌ・エフ・エーは
保険を通じて暮らしやビジネスを
サポートします



NFA

株式会社 エヌ・エフ・エー

保険のトータルプランナー

〒110-0015
東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階
TEL.03-5818-0711(代表) FAX.03-5818-0710
<https://www.nfa-ins.co.jp>

【触診が苦手な方限定】
第35期

6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー BASICコース 信頼される療法士の土台を作る

テーマ：3ヶ月で触診の技術を磨き、評価・アプローチを効率的に行えるようになる。

内容：触診の技術に自信がありますか？多くの療法士が触診の苦手意識や治療効果の不明確さに悩んでいます。この根本には触診技術の不足があります。当セミナーは、André Aubinらの「7ステップ触診法」を基に、3ヶ月間の集中プログラムを提供。少人数制で実技中心のカリキュラムにより、確実に技術を習得できます。

コース構成：1ヶ月目体幹編
2ヶ月目上下肢編1
3ヶ月目上下肢編2
各回で触診、モビライゼーション、筋膜のリリースを学びます。
医師からも「触診の大切さを再認識した」と高評価。この機会に療法士としての土台を築き、患者様から信頼される存在になりませんか？
詳細はHPよりご確認ください>>>
<https://lts-seminar.jp>

開催日時：第35期（土日）

2025年 7月5,6日 8月2,3日

9月6,7日

9時30分～16時30分（休憩あり）

*都合の悪い日程は振替受講が可能です。

会場：〒233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内
ウィリング横浜（京浜急行/横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車徒歩3分）

受講料：6日間お申込みで66,000円（税込）
（テキスト代含む）

講師：大塚 久 理学療法士

定員：24名限定

注意事項：HPよりお申し込みください>>>

<https://lts-seminar.jp>

お問い合わせ：療法士活性化委員会事務局：
ryohoshikasseika@gmail.com



有限会社 **足柄リハビリテーションサービス**
社会貢献 社会実装
地域をリハビリテーションする会社



〒250-0853 小田原市 堀之内 218-3
TEL: 0465-39-3730 FAX: 0465-37-5740
<https://ashigara-reha.jp/>



小田原Lエール
女性活躍推進優良企業
ゴールドステージ認定

理学療法士
作業療法士
正・准看護師
皆さんの活躍を
待っている人がいます

スタッフ募集中*施設見学受付中

- ・訪問看護
- ・通所介護
- ・訪問介護
- ・小規模多機能
- ・健康増進事業
- ・放課後等デイ
- ・保育所等
訪問支援事業
- ・観光事業

会長行動報告

報告期間 令和6年（2024年）12月1日～令和7年（2025年）2月28日
 当該期間の会長職務の執行状況を報告します。

12月	5日	(木)	第45回関ブロ学会神奈川大会第1回準備委員会	Web	
			第9回常任理事会	Web	
	9日	(月)	齊藤PT協会長と意見交換会		横須賀
			リハ議連総会	千代田区・憲政記念館	
	16日	(月)	東京都理学療法士養成校有志の会 講演	Web	
	20日	(金)	事務作業の確認	Web	
田中まさし先生政経懇話会			千代田区・憲政記念館		
26日	(木)	第5回事業運営会議	Web		
1月	9日	(木)	第45回関ブロ学会神奈川大会第2回準備委員会	Web	
			第10回常任理事会	Web	
	12日	(月)	田口順子先生を偲ぶ会	東京工科大学蒲田キャンパス	
	15日	(水)	神奈川県病院協会 賀詞交歓会	横浜ベイホテル東急	
	16日	(木)	運動器の健康骨と関節の日市民講座 反省会	横浜	
	17日	(金)	齊藤PT協会長の私的勉強会	Web	
	22日	(水)	事務職員採用面接	Web	
23日	(木)	第6回事業運営会議			
2月	6日	(木)	第45回関ブロ学会神奈川大会第3回準備委員会	Web	
			第11回常任理事会		
	9日	(日)	第41回神奈川県理学療法士学会 開会式	パシフィコ横浜	
			神奈川県3士会長シンポジウム	パシフィコ横浜	
	12日	(水)	神奈川トヨタ業務提携検討会議	事務所	
	22日	(土)	賛助会員意見交換会	Web	
			関東甲信越ブロック協議会 士会長会議	ホテルメトロポリタン高崎	
関東甲信越ブロック協議会 士会長懇親会			Dining Kitchen さわ		
27日	(木)	第5回理事会	Web		

有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い

生活を手助けするものづくりを提供して参ります



〒247-0006 横浜市栄区笠間三丁目40番5号
 TEL045-892-5424 FAX045-894-2560 www.kimura-gish.co.jp

日本理学療法士協会会員証・協会マイページログインについて

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。

今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必要なになります。携帯する様にお願いします。



紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必須となります。

- * 「ID・パスワード再発行」はログインページの「ログインできない方はこちら」をクリックし、再発行申請手続きを行ってください。
- * 会員証・ID・パスワードの再発行の申請について詳しくは、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。ご不明な点は、日本理学療法士協会へお問合せをお願いいたします。

年会費（納入方法）

年会費の納入方法は「クレジットカード決済」または「口座振替」となります。

クレジットカード決済にご利用可能なブランドは次のとおりです。（決済手数料負担なし）

VISA / mastercard / JCB / AMERICAN EXPRESS / Diners Club

* 日本理学療法士協会マイページから随時変更可能です。

* 口座振替ご希望の方はお持ちの金融機関口座から引落出来ます。ご登録いただいてから引落決済が利用できるまでに1か月程度かかる場合があります。

* いずれかの方法で決済ができない場合は、振込用紙を送付させていただきます。（納入手数料がかかります）

快足インソール

Kai Soku Insole

特許取得済み
特許7095847号
国際特許申請済み

↑ 清潔な抗菌・防臭仕様 ↓

自分の足形がすぐに採れて 歩行を快適にサポート!

- ▶ 特許技術で、自分に最適な足形のインソールが簡単に作れます
- ▶ 足にバランス良く圧力をかけられる理想的なアーチを作り、バランス能力・運動機能をサポート
- ▶ 電子レンジで再度加熱し、足形を作り直せるサステナブルなリユース可能商品
- ▶ S(22~24cm)・M(24~26cm)・L(26~28cm)の3サイズをラインナップ

本商品は医療器具ではありません。ケガや疾病の予防や改善を謳うものではありません

カンタン! 自分だけのインソールがすぐできる!

電子レンジですべてできる

1 「快足インソール」を電子レンジで使用するシューズの中に500W・50秒加熱します

2 「快足インソール」を入れます

3 シューズを履きスクワットし、体重をかけ自分の足型を作成

● 発売元 **GSI Creos**
株式会社GSIクレオス アパレル部
TEL.06-6944-2626
<https://www.gsi.co.jp>

● 企画元 **株あたらし家**
<https://atarashiya-nh.com>
(公社)日本介護福祉士会 会員

MASAHT
株式会社旭無線

商品詳細は [こちらから](#)

編集後記

皆様、4月となり暖かい日も増えてまいりました。本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。さて、第60回理学療法士国家試験も2月24日（月曜日）に無事開催されました。ニュース4月号が掲載されるときには、既に合格率も出ているのではないのでしょうか。ここ2年間は合格率は高めで推移していましたので、今年度も期待したいと思ひます。また、今年度は理学療法議論の分野で珍しい問題が出題されました。日本で最初の養成教育機関の開設時期を問う問題です。答えは1960年代でした。なにか原点回帰といった感じの問題でした。県士会ニュースも原点に戻りますと、第1号の発行は1971年6月17日です。当時の会員数は65名との事です。もちろん手書きで作成しており、挿絵等のハンドメイドがぬくもりを感じさせてくれます。現在4月号時点ではニュースも第303号となり、会員数も5709名まで増えました。県士会ニュースが脈々と受け継がれてきた歴史を感じます。今後も堅実に県士会ニュースを作成してまいりますので、ご支援の程よろしくお願ひいたします。

ニュース編集係 武田 正一



神奈川県理学療法士会の
公式アカウントがあります。

研修会やイベント、県士会からの
重要な情報をLINEでお届けします！

@720prcny

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



友だち数 1159

・ニュース編集係員・

担当理事：西田 友紀子
(川崎幸病院)
係長：武田 正一
(横浜リハビリテーション専門学校)
委員：上垣 亮太
(横浜リハビリテーション専門学校)
須藤 ゆかり
(横浜リハビリテーション専門学校)

次号の原稿締め切りは**2025年6月1日**です。

岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校
理学療法学科（ニュース編集係宛）

news-hensyu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。
円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願ひいたします。